

議論の進め方について（案）

1. 論点と事業類型との関係

- 既往事例の大宗を占める「従来型事業（サービス購入型）」とその他の「新たな事業類型（収益施設併設型・運営権活用型）」との差異に留意して論点を整理。
- 第2回WGでは、従来型事業（サービス購入型）に関する論点について議論を実施。
- 第3回WG以降では、新たな事業類型（収益施設併設型・運営権活用型）に関する論点について議論を実施。

表 論点と事業類型との関係

		VFMに関するもの	リスク分担に関するもの
従来型事業 (サービス購入型)		支払額削減以外の VFMについて VFMが果たすべき 役割について	リスクを明確に認識する ためのリスクワーク ショップ等の手段について
	適宜 反映 第2回WGでの論点（案）		
新たな事業類型	収益施設 併設型	新たな事業類型における VFM評価のあり方について	本体事業と付帯事業との 間のリスク遮断について
	運営権活用型	（現時点で既往事例が存在しないため、空港等の先行 検討事例事業の動向を見据えつつ、今後検討を実施）	
		第3回WG以降での論点（案）	

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・アクションプランでは新たな事業類型が示されているが、事業類型によりリスクの大きさが異なることを認識して、議論を進める必要があるのではないか。
- ・従来型事業に関しては手続きの簡易化と普及、新たな事業類型に関してはパイロットプロジェクトの推進と体制作りが必要。これらを踏まえると、事業類型を意識して、二極化した議論をすべきではないか。

2. 従来型事業（サービス購入型）に関する論点

(1) 支払額削減以外のVFMについて

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・財政支出の確実性という見地から、VFMの「ばらつき」にも着目する必要があるのではないか。
- ・財政支出削減効果以外にも社会的便益・外部効果があるのではないか。また、それらが利害関係者間にどのように分配されるのかという論点もあるのではないか。

(2) VFMが果たすべき役割について

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・政策評価・事業評価との関係も含め、VFMが果たすべき役についての議論もあるのではないか。

(3) リスクを明確に認識するためのリスクワークショップ等の手段について

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・リスクを明確に認識する手段について、国内外におけるリスクワークショップの実態等を通じて議論してはどうか。

3. 新たな事業類型(収益施設併設型・運営権活用型)に関する論点

(1) 新たな事業類型におけるVFM評価のあり方について

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・PPPや公的不動産の有効活用におけるVFM計測やPSC設定の考え方について議論してみてもどうか。
- ・財政支出削減効果以外にも社会的便益・外部効果があるのではないか。また、それらが利害関係者間にどのように分配されるのかという論点もあるのではないか。(再掲)

(2) 本体事業と付帯事業との間のリスク遮断について

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・収益施設併設型事業の場合、本体事業との間でリスクをどこまで遮断するのかについて議論してはどうか。

4. その他

○必要に応じて、ケーススタディ等を実施。

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・空港等の先行検討事業の動向にも留意してはどうか。
- ・今後PFIをより浸透させるためには、小規模な地方公共団体の意見を把握してみてもどうか。
- ・ケーススタディ等を通じて、実務上存在しうるリスク分担の課題を把握してはどうか。